

地域農業の課題解決へ

「最適化推進会議」設置を

農委会と農林担当部局が連携

府内の農業委員会では、新体制が整ったことを受け、「最適化推進会議」（仮称）の設置が進められている。

これは農業委員、最適化推進委員の代表と市町村の農林担当部局で構成され、地域農業の課題解決を専門に扱う。地域の代表である

委員の「現場の声」とすり合わせつつ、市町村農政を推進する「行政と農業委員会の連携の場」としても期待される。

また、旧町村ごとに、地区担当の農業委員、最適化推進委員で「地区連絡会」をつ

くる。地区連絡会では、最適化推進会議に地域課題を反映させるとともに、地域における委員活動のセンター機能を担うこととされており、農事組合や担い手組織などとの連携が鍵になる。

すでに綾部市や宮津市などでは最適化推進会議の設置を決めている。

綾部市では地区連絡会議と農業委員協力員で農地の利用状況調査が取り組まれており、今後、遊休農地対策や担い手対策など、それぞれ地区ごとの事情を踏まえた活動の具体化が進むものと期待されている。